

ガンマナイフ治療最前線情報

2024年7月発行 第139号

免疫チェックポイント阻害薬と定位放射線手術の同時併用療法の安全性と有効性、医者と研究者の提言

The Safety and Efficacy of Concurrent Immune Checkpoint Blockade and Stereotactic Radiosurgery Therapy with Practitioner and Researcher Recommendations

Yusuf Mehkri, Sonora Andromeda Windermere, Megan E H Still, Sandra C Yan, Michael Goutnik, Kaitlyn Melnick, Bently Doonan, Asley P Ghiaseddin, Maryam Rahman

World Neurosurg.2024 Jan: 181:e133-e153.doi:10.1016/j.wneu.2023.09.042.Epub 2023 Sep 20.

要旨

背景：免疫チェックポイント阻害薬（ICI）は、脳転移の治療において、とくに定位放射線手術（SRS）との併用が有望視されている。ICIとSRSの併用は、有効性だけでなく、放射線壊死のリスクの増加についても研究されている。本総説では、SRS単独治療またはSRS-ICI併用治療を受けた脳転移患者の放射線壊死、頭蓋内制御、全生存率の臨床転帰を比較する。

方法：2023年5月にPubMed, Scopus, Embase, Web of Science, Cochraneの文献検索を行い、脳転移の治療におけるSRS/ICIとSRS単独の安全性と有効性を比較した論文を検索した。

結果：検索基準により1961件の論文が特定され、そのうち48件が包含基準を満たした。SRSとICIの併用療法は、放射線画像上または臨床上にも放射線壊死の発生率を有意に増加させることはない。全体として、SRS単独療法とSRS-ICI併用療法の頭蓋内制御に差はみとめなかった。併用療法は全生存期間中央値の延長と関連している。注目すべきは、いくつかの比較研究で神経学的死亡の減少が観察されたことであり、生存率の改善は全身制御の向上によるものであるという推定に疑問が投げかけら

れている。文献的には、SRS-ICI の 4 週間以内の投与が生存率に有利であることを支持しているが、まだ結論は出ておらず、他の結果指標についてさらなる研究が必要である。

結論： SRS-ICI 併用療法は、SRS 単独療法と比較して放射線壊死のリスクを有意に増加させることなく、脳転移患者の全生存期間を有意に延長する。頭蓋内制御率は 2 群間で同程度のものであるが、治療実施のタイミングが制御率を改善する可能性があり、さらなる研究が必要である。

先端巨大症における放射線手術の有効性と安全性

Efficacy and safety of radiosurgery in acromegaly

Luigi Albano, Marco Losa, Enrico Garbin, Edoardo Pompeo, Lina Raffaella Barzaghi, Pietro Mortini

Besto Pract Res Clin Endocrinol Metab. 2024 Apr

29:101898.doi:10.1016/j.beem.2024.101898.Online ahead of print.

要旨

定位放射線手術 (SRS) は先端巨大症の治療においてますます重要な役割を果たしている。われわれは、成長ホルモン (GH) 分泌下垂体腺腫の管理に対する SRS に関する文献の系統的レビューとメタ分析を行い、この治療の有効性及び安全性を説明することを目的としている。これらは、いくつかの放射線手術手技を含んでいる。プールされたアウトカム推定値の算出には、重み付けランダム効果モデルを使用した。346 件の抄録レビューから、27 件の後方視的研究が組み入れられた。ホルモン寛解基準にはばらつきがあり、収録された研究間で治療ガイドラインも異なっているにもかかわらず、ほとんどの研究で内分泌寛解率は 40%~60%と報告されている。SRS 後の全体的な内分泌寛解と 5 年寛解率のランダム効果メタ分析は、それぞれ 46% (95%CI:39-53%) と 48% (95%CI:38-57%) であった。SRS 後の新規下垂体機能低下症のランダム効果メタ分析の推定値は 23% (95%CI:17-29%) であった。さらに、SRS 後の放射線誘発性視神経症の発生率は 0%~6%であった。このメタ分析により、先端巨大症における外科的治療後の内分泌寛解を達成するための SRS の安全性と有効性が確認され、定量化された。

もみのき病院 高知ガンマナイフセンター

〒780-0952 高知県高知市塚ノ原6-1

TEL : (088) 840-2222

FAX : (088) 840-1001

E-mail : mail@mominoki-hp.or.jp

URL: <http://mominoki-hp.or.jp/>

担当医 : 森木、道上、刈谷 事務担当 : 蒲原